

## 『人の手で自然の森をつくる（仮題）』で使用する素材の種類（案）

## 素材例① 文章による全体概要の説明

《小学校6年生児童に理解できる表現にて全体概要を説明：事務局にて作成》

釧路湿原は日本の中でも一番大きな湿地で、たくさんの動植物が住んでいる自然が大変豊かな場所ですが、この数十年の短い時間に、広さは小さくなり、自然の中身も急に変わってきたことが心配されています。そうした湿原を守っていくためのいろいろな活動が行われていますが、その一つが、人の手で植えられた1つの種類の木から出来た森や枯れてしまった森を、元々ここの地域にあった様々な木が生えた自然の森へ変えていこうという活動です。

森林に振った雨はゆっくりとしみだしてきて釧路川に集まり、湿原をゆっくりと流れながら様々な動植物を育てています。また、森の木々は、土が川に流れ込むのを防いだり、多くの昆虫や動物が生活していく場所になっています。森には人の手で作った森と自然の力で出来た森がありますが、自然の力で出来た森の方が、多くの動物達が住むことができ、豊かな湿原を守っていくことにもつながっていきます。

## 素材例② 写真

《現在の森林とこれから育てたい森林のイメージ：朝倉委員より提供》



人工林



天然林のイメージ



立ち枯れが起こった森林

《達古武地区で行われて内容：再生普及行動計画 WG 通信 HP より》



地表処理（かきお越し）



1年後



地表処理（ササ刈り）



地表処理（ササ刈り）



植栽



植栽



鹿防護柵



中間伐採（伐採率32%）



高間伐採（伐採率45%）

《雷別地区で行われて内容：再生普及行動計画 WG 通信 HP より》



保全地区



天然更新



天然更新



(種の採取)



(種まき)



(ポット苗の完成)



(苗を植樹)

人工植栽



(野草の観察)



(シードトラップ設置)



(間伐・枝打ち)



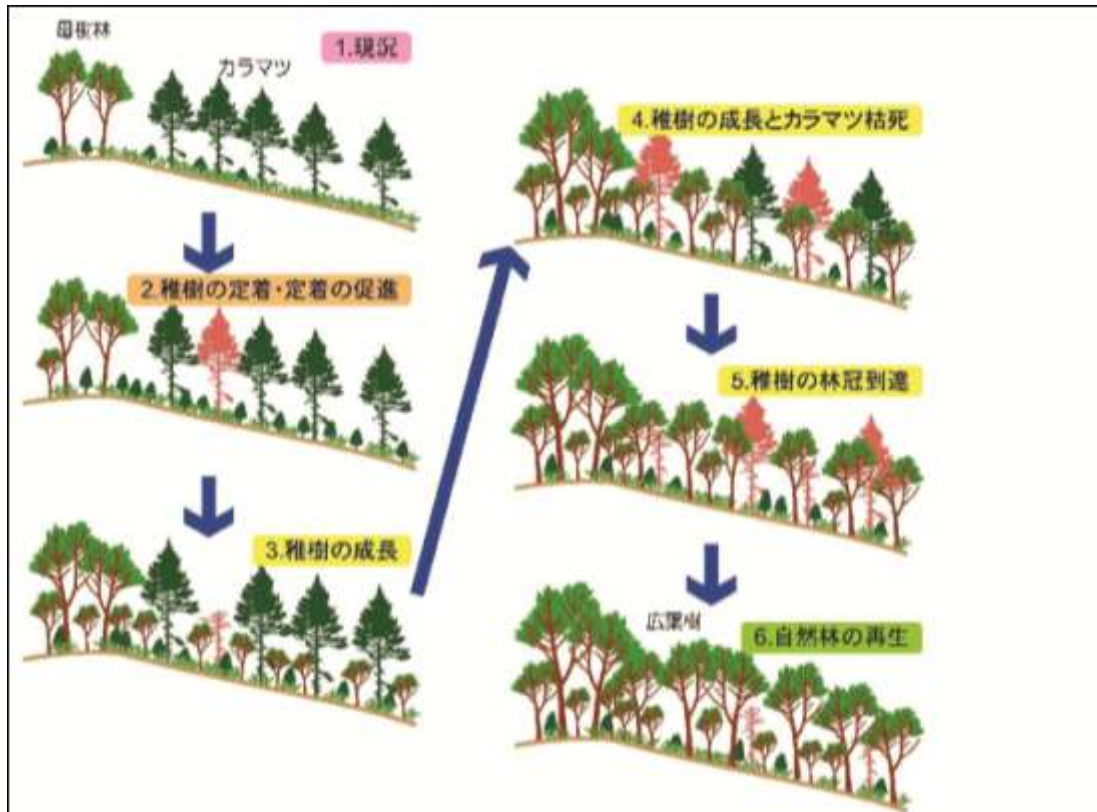
(遊歩道の整備)

森林ボランティア養成講座 (雷別ドングリ倶楽部)

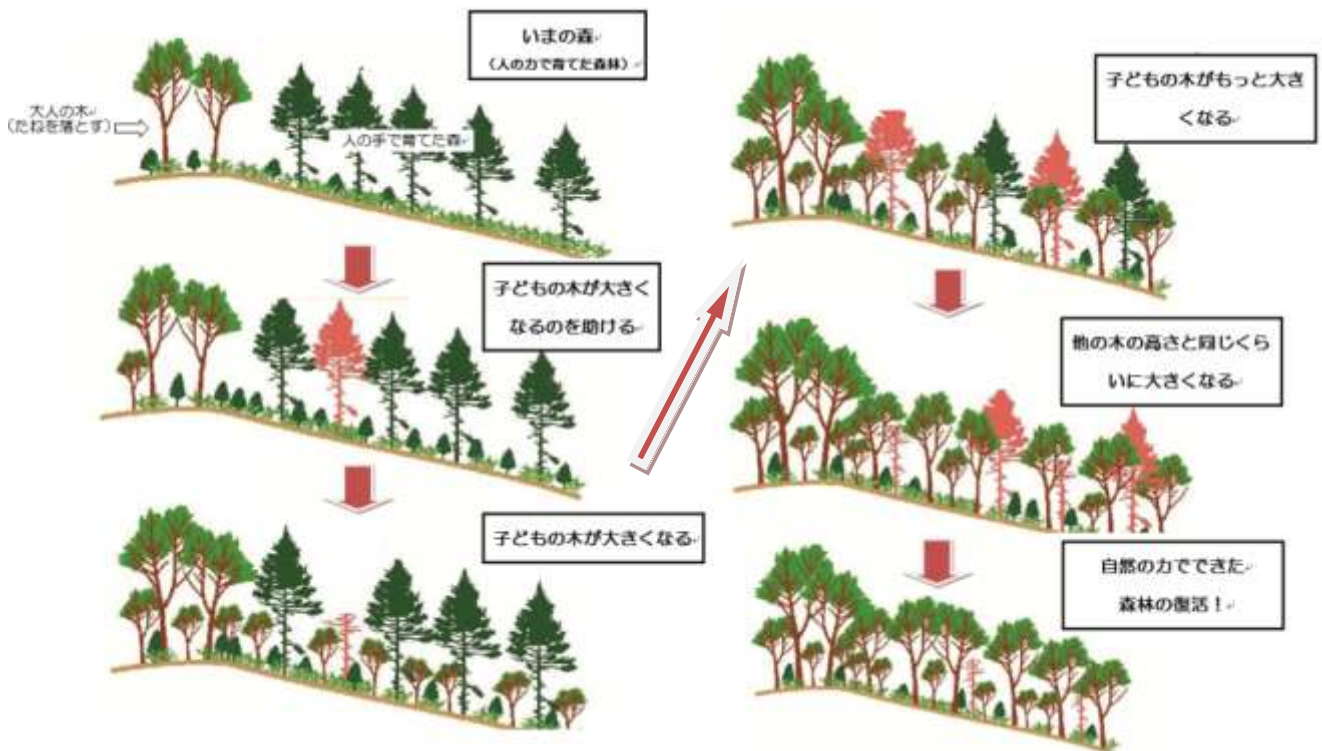
素材例③ イラスト

《達古武地区で天然林を育てていく方法を紹介：朝倉委員より提供》

元の資料

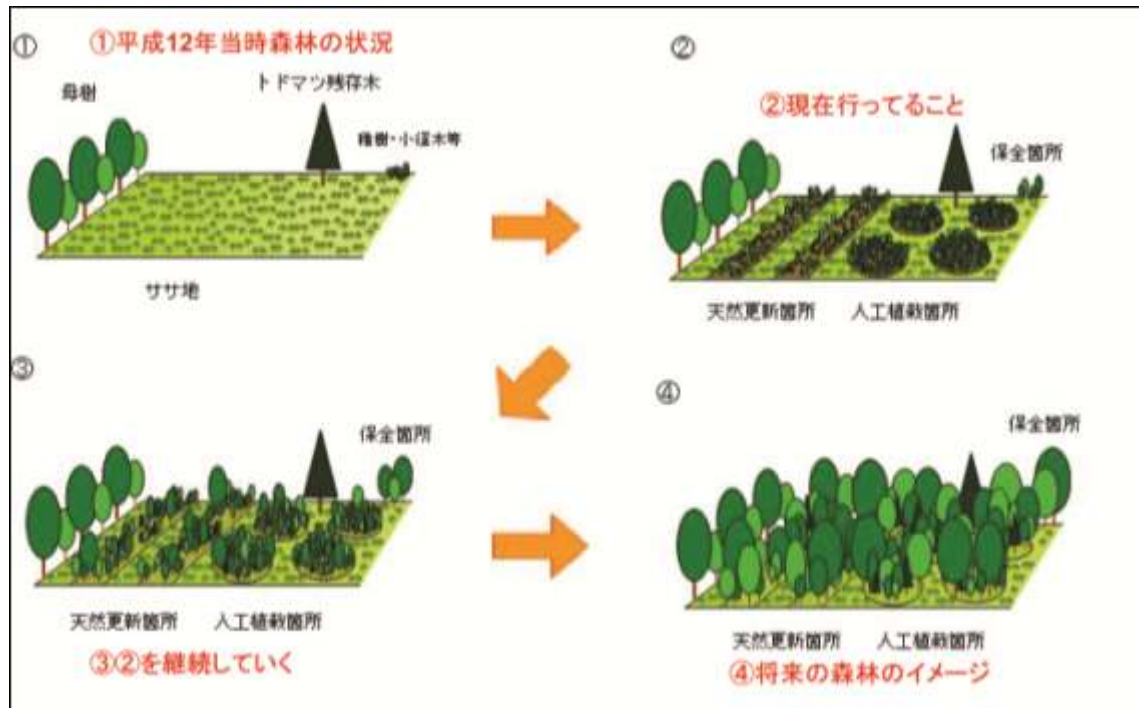


児童用資料としてわかりやすい表現に事務局にて編集

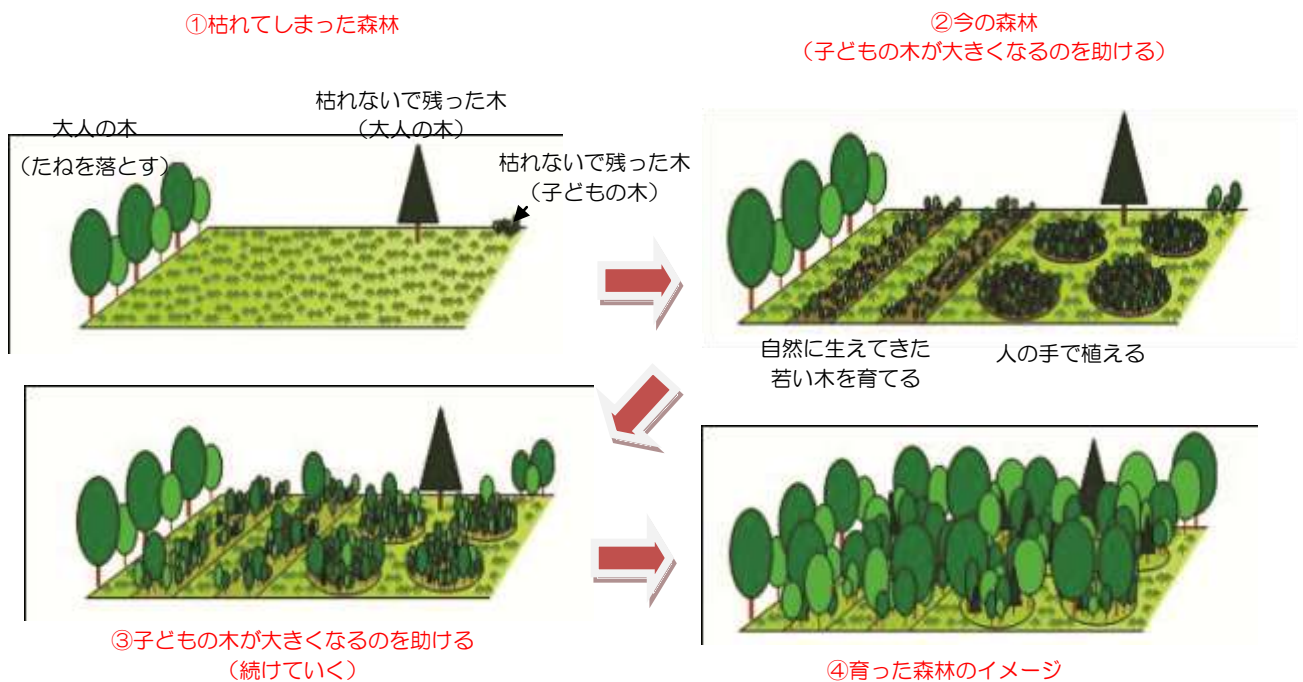


《雷別地区で天然林を育てていく方法を紹介：朝倉委員より提供》

元の資料



児童用資料としてわかりやすい表現に事務局にて編集



《達古武地区の位置図：再生普及行動計画 WG 通信 HP より》



《雷別地区の位置図：再生普及行動計画 WG 通信 HP より》



《森林ってどんなもの：朝倉委員より提供》

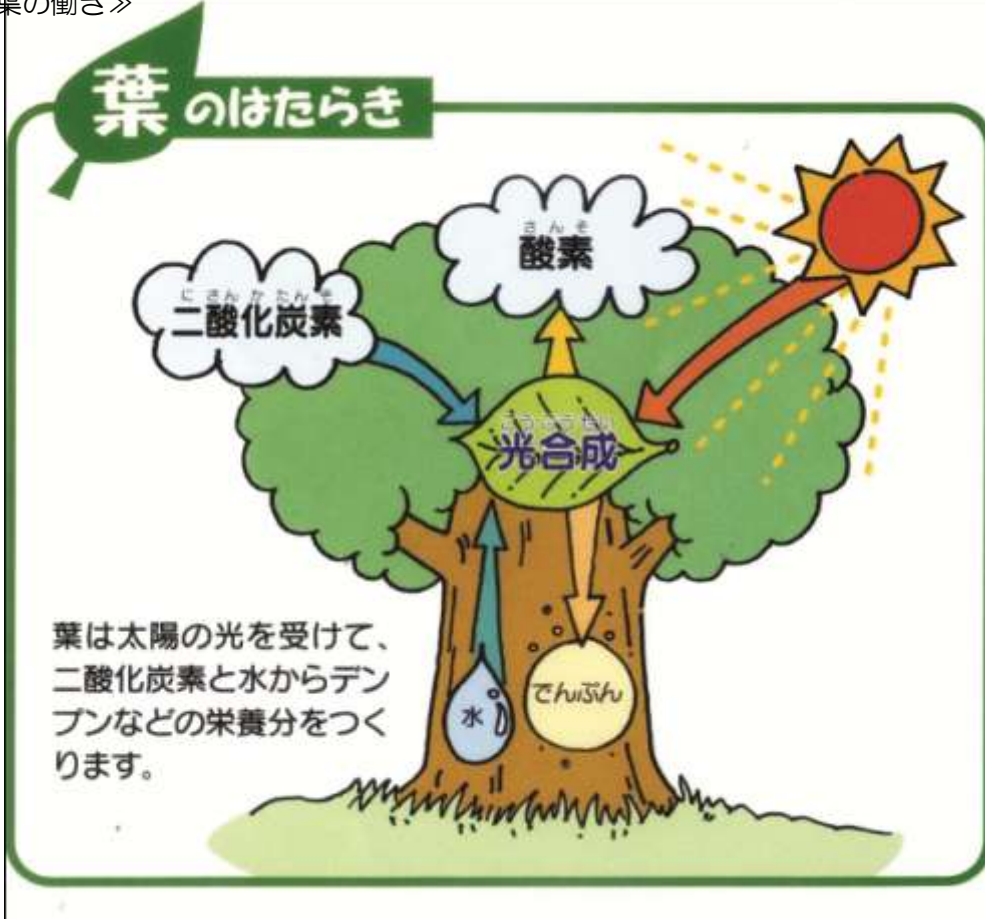
《「自然の力でできた森林」と「人の力で育てた森林」》



《森林の働き》



《葉の働き》

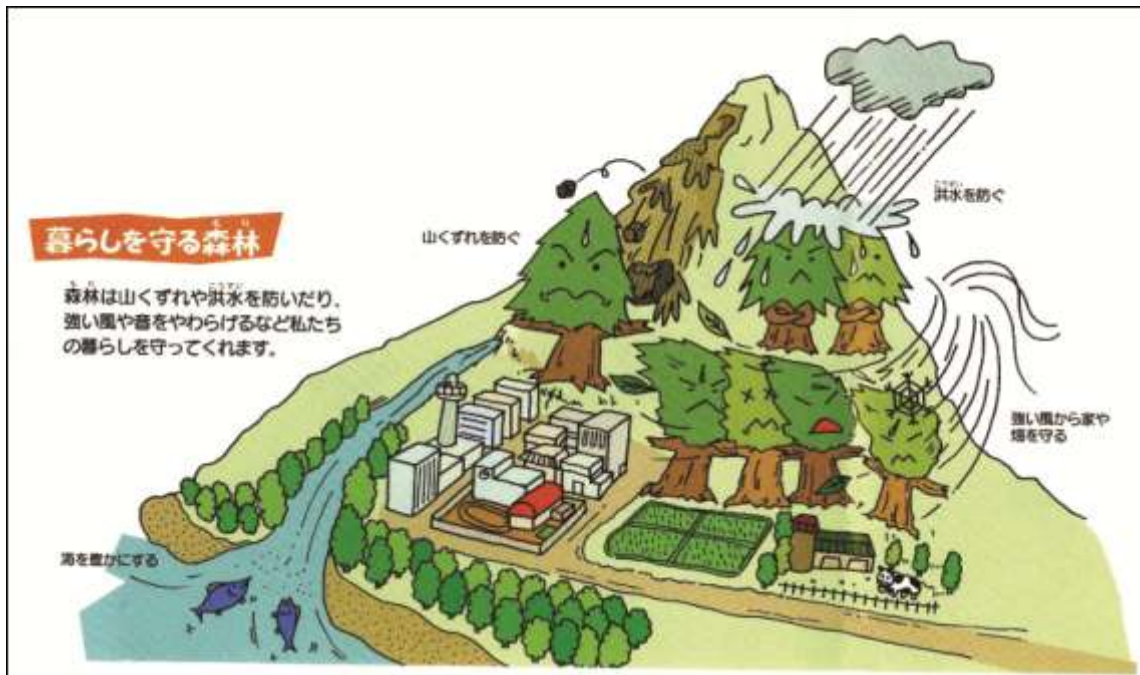




《森林は生きている》



《暮らしを守る森林》



《木材と生活》

